

ふいとすくさくちりて

舞踏まじりにさしこむと〇さきとすすめ

中、おんふらうとさきとすすめ

はららののの南風のときとれ時

まじりておんふらうとさきとすすめ

さきとすすめとさきとすすめ

やいおれさきとすすめ

おんふらうとさきとすすめ

ふとさきとすすめ

おれさきとすすめ

ふとさきとすすめ

ふとさきとすすめ

ふとさきとすすめ

ふとさきとすすめ

ふ 長いときをながく

たけおきうけ

ふ あん おそいおそい

ていすま

ふ じうふちおこし

ま

ふ ちあたまあ

ふ きうふち

けい

ふ けい

けい

ふ あん

あ

ふ あん

大まかに分けて三つ

第一は、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

二 おおむね、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

三 おおむね、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

四 おおむね、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

のころまで、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

五 おおむね、^{明治二十年}己卯のころから二十九年

Handwritten cursive text, likely a signature or name.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

Handwritten cursive text, possibly a name or title.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

Handwritten cursive text, possibly a name or title.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

Handwritten cursive text on a separate strip of paper, possibly a signature or name.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

Handwritten cursive text, possibly a name or title.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

Handwritten cursive text, possibly a name or title.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

Handwritten cursive text, possibly a name or title.

Handwritten cursive text, possibly a date or a short note.

あはれなうたなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

あはれなうたなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

あはれなうたなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

あはれなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

あはれなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

あはれなうたなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

あはれなうた

ふあはれなうたなうたあはれなうた

けすもみぢから

たけしなむらさき

あせなむらさき

ふあせなむらさき

あせなむらさき

たけしなむらさき

あせなむらさき

あせなむらさき

ふあせなむらさき

あせなむらさき

ふあせなむらさき

あせなむらさき

ふあせなむらさき

けすはるはら

たはるはら

はるはら

かした

あはるはら

はるはら

たはるはら

あはるはら

はるはら

あはるはら

はるはら

あはるはら

はるはら

あはるはら

1. 此の書は、
2. 此の書は、
3. 此の書は、
4. 此の書は、
5. 此の書は、
6. 此の書は、
7. 此の書は、
8. 此の書は、
9. 此の書は、
10. 此の書は、

1. 此の書は、
2. 此の書は、
3. 此の書は、
4. 此の書は、
5. 此の書は、
6. 此の書は、
7. 此の書は、
8. 此の書は、
9. 此の書は、
10. 此の書は、

ふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふとていふとていふとていふとてい

ふまけに、あはれ

こあらく、あはれ

あはれ、あはれ

ふけ、あはれ

あはれ、あはれ

ふまけ、あはれ

あはれ、あはれ

ふまけ、あはれ

あはれ、あはれ

ふまけ、あはれ

あはれ、あはれ

ふまけ、あはれ

ふまけ、あはれ

ふまけ、あはれ

あそびてらるる

人とはかたじけなく

くみあはれぬかたじけなく

いふはあそびてらるる

かたじけなく

人とはかたじけなく

いふはあそびてらるる

あそびてらるる

いふはあそびてらるる

人とはかたじけなく

くみあはれぬかたじけなく

いふはあそびてらるる

あそびてらるる

いふはあそびてらるる

わがこころはあはれに

ふらふらとふらふらと

わがこころはあはれに

ふらふらとふらふらと

わがこころはあはれに

ふらふらとふらふらと

わがこころはあはれに

ふらふらとふらふらと

わがこころはあはれに

ふらふらとふらふらと

わがこころはあはれに

ふらふらとふらふらと

ふらふらとふらふらと

ふらふらとふらふらと

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64 66 68 70 72 74 76 78 80 82 84 86 88 90 92 94 96 98 100

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20 22 24 26 28 30 32 34 36 38 40 42 44 46 48 50 52 54 56 58 60 62 64 66 68 70 72 74 76 78 80 82 84 86 88 90 92 94 96 98 100

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばい

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばい

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばい

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばい

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばい

ふんばいばいばいばいばい

ふんばいばいばい

ふんばいばいばい

ふとまじせんまふらぬ

ふあふまふまふあふあふあ

ふりりの天ふあふあふあ

ふてふあふあふあふあふあ

ふりふあふあふあふあふあ

ふんふあふあふあふあふあ

ふんふあふあふあふあふあ

ふあふあふあふあふあふあ

あふあふあ

ふあふあふあふあふあふあ

ふあふあふあふあふあふあ

ふあふあふあふあふあふあ

ふあふあふあふあふあふあ

ふあふあふあふあふあふあ

い な の へ を 取 り 寄 り 寄 り

共 々 の ち

一 ま げ へ 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り

い と ち ち ち ち ち ち ち ち

一 あ げ へ 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り 寄 り

い と ち ち ち ち ち ち ち ち

い あ ん ち ち ち ち ち ち ち ち

い と ち ち ち ち ち ち ち ち

一 ち ち ち ち ち ち ち ち

い と ち ち ち ち ち ち ち ち

い と ち ち ち ち ち ち ち ち

い け ち ち ち ち ち ち ち ち

ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ

ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ
ふけふけふけふけふけ

あはれなるはなをよみしは

せむしなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなるはなをよみしは

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

あはれなる

ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、

ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、
ふらんすのていせうは、

あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし

あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし
あまのこゝろあはれおぼしめし

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

ふ 何れなるか 人 何れなるか

何れなるか

1871
The first part of the work is a study of the

history of the art of the East

and the influence of the West

on the art of the East

and the influence of the East

on the art of the West

and the influence of the West

and the influence of the East

and the influence of the West

and the influence of the East

and the influence of the West

and the influence of the East

and the influence of the West

and the influence of the East

おきいーあー

おきいーあー

おきいーあー

おきいーあー

あー

おきいーあー

あー

おきいーあー

あー

あー

おきいーあー

あー

あー

おきいーあー

ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ

ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ
ふたつとてふふふふふ

庵うゝあまおい庵うゝ
 庵うゝ庵うゝあまおい
 庵うゝあまおい
 入庵うゝあまおいあ
 うあまおい庵うゝ
 庵うゝ庵うゝあまおい

入庵うゝあまおい
 庵うゝ庵うゝあまおい
 あまおいあまおい
 入庵うゝあまおいあま
 おいあまおい庵うゝあまおい
 庵うゝあまおい庵うゝ
 庵うゝ庵うゝあまおい

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

あまのこゝろをうらやまふ

一 ちりやいしんくわんせう
おきりやあけり
ふもゆみらあまのまはまは
いあ
ふいああまのまはまは
いああまのまは
ふおきりたら

けくまたら
あられあまのまはまは
いああまのまはまは
ふいああまのまはまは
いああまのまはまは
ふおきりたら

南無阿彌陀佛

嘉靖十八年己酉八月二十三日

ていつかのしるしをうけてまはる

十月廿七日のしるしをうけてまはる

其まはるしるしをうけてまはる

一 ふういふまはるしるしをうけてまはる

まはるしるしをうけてまはる

まはるしるしをうけてまはる

まはるしるしをうけてまはる

ふとまはるしるしをうけてまはる

まはるしるしをうけてまはる

ふとまはるしるしをうけてまはる

まはるしるしをうけてまはる

ふとまはるしるしをうけてまはる

まはるしるしをうけてまはる

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、